

BOOKMARK

Library Newsが
リニューアル!
創刊号

2016/4/1

[ブックマーク] TAKE FREE

発表!

2015年度貸出ランキング

2016.3.1調べ

タイトル	請求記号
1 『TOEICテスト新公式問題集 Vol.6』 Educational Testing Service	830.79/To19
2 『火花』 又吉直樹	913.6/Ma71
『読書力』 齊藤孝	080/IR2 (801)
3 『学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話』 坪田信貴	376.8/Ts19
『新しい社会：地理』 五味文彦他	375.9/To46
『銀翼のイカロス』 池井戸潤	913.6/I33
4 『サラバ!下』 西加奈子	913.6/N81
『テキスト上級簿記 第4版』 渡部裕巨他	336.91/W45
『サラバ!上』 西加奈子	913.6/N81
『TOEICテスト新公式問題集 Vol.4』 Educational Testing Service	830.79/To19
5 『ハズブルクとオスマン帝国：歴史を変えた「政治」の発明』 河野淳	234.6/Ko76
『新しい社会：歴史』 五味文彦他	375.9/To46
『TOEICテスト公式プラクティス リーディング編』 Educational Testing Service	830.79/E24



リレーコラム ブックマークする？

さてさて、図書館の広報誌が「BOOKMARK」へ生まれ変わりましたが、変わったのはサイズやデザインだけではありません。広報誌作りに欠かせないもの…、そう、それは、カメラ!



館長室で眠っていた Nikon



このNikonの一眼レフが私達編集委員の新たな相棒になりました。使ってみると、画質が全然違う…! 今までのデジカメとは比べものにならない…! 使い方をしっかりマスターして、フル活用できるよう頑張ります。

使い方は目下勉強中です

取材班を見かけたら協力してね!



リニューアルした『BOOK MARK』。掲載写真の美しさにぜひご注目ください。

(佐々木)

編集後記

図書館報「Library News」は2016年4月号から「BOOKMARK」として装いも新たに生まれ変わりました。リニューアル号、楽しんでいただけたでしょうか。要望の多かった本の紹介や貸出ランキング、学生インタビューページなどが新しく登場し、盛りだくさんの内容で1年に2回(4月/10月)発行する予定です。少しでも気になる記事を見つけたら「ブックマーク」して、本や人との出会いを楽しんでみてくださいね。その出会いがあなたの人生を変えるかも…!? 各ページ下の「図書館豆知識」はマニアックな情報もあり、要チェックです!

※「BOOKMARK」には「本のしおり」や「お気に入り」という意味があります。(外山)

図書館(2階・3階)開館時間

	講義期間中	長期休暇中
平日	8:45 ~ 21:30	9:15 ~ 16:30
土曜日	9:15 ~ 16:30	9:15 ~ 12:30
日曜日	10:00 ~ 16:00	休館

表紙モデル：商学部商学科 下本啓介・久保雅嗣・岸上和矢
商学部経営学科 木下諒・南慶郎

発行・編集：広島修道大学図書館 発行日：2016年4月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
TEL：082-830-1112 FAX：082-830-1964
URL：http://www.shudo-u.ac.jp/library/ ホームページのURLが変わりました
E-mail：tosh@js.shudo-u.ac.jp

次号は
10月1日
発行予定
です

これから
図書館の
ホームページへ
アクセス
できます



CONTENTS

特集

2 ピッ!
図書館へようこそ!

特集?

4 アイから広がる図書館づくり

連載

6 Youは何しに図書館へ?

8 この本にブックマーク!
始めませんか?読書マラソン

10 イベントブックマーク
英語リーダーズキャンペーン ほか

12 教員エッセイ…坂根嘉弘

14 職員エッセイ…社家彰夫

16 ランキング/リレーコラム/編集後記

図書館へ ようこそ!

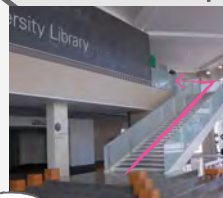
Welcome to Shudo Library!

学生証

図書館で本を 借りてみよう! 編

「ピッ!」というのは、図書館の入館ゲートに学生証をかざした時の音です。学生証をかざすとゲートが開き、図書館の中に入れます。さあ、「ピッ!」と学生証をかざして図書館の中に入り、本を借りてみましょう!!

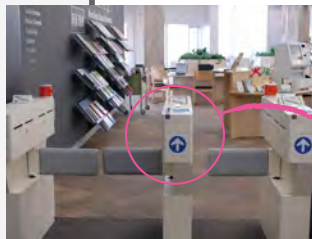
図書館に 入るには?



①図書館の建物に入ったら右側に階段があります。そこから2階に上がりますよ。

2階へ

②2階に上がると入館ゲートがあります。入館ゲートの「ICカード読み取り口」に学生証をかざすと「ピッ!」と音が鳴りゲートが開きます。



2階の入館ゲート▲

ICカード読み取り口▶

さあ、ゲートを通して図書館に入りましょう!!



本を探すには?

①図書館の本棚を見て、読みたい本を探すのも良いですが、本学図書館には、80万冊以上の本があります。OPAC[※]（蔵書検索システム）を利用すると早く本を探せますので利用しましょう。



▲OPAC専用パソコン

●キーワード	:	<input type="text"/>
●ISBN	:	<input type="text"/>
●ISSN	:	<input type="text"/>
●NCID	:	<input type="text"/>
●資料の種類	:	<input checked="" type="checkbox"/> 図書 <input checked="" type="checkbox"/> 雑誌 <input checked="" type="checkbox"/> 雑誌特集
●対象データベース	:	<input checked="" type="radio"/> 本学所蔵 <input type="radio"/> NACSIS目録
●タイトル	:	<input type="text"/>

▲OPACの画面

②OPACの画面の「キーワード」や「タイトル」などに入力して、検索すると、本がどこにあるのかでできます。

本は どこに あるの?



①検索の例として、「キーワード」に『わかるレポート 論文』と入力して検索してみます。すると、下の本がヒットしました。画面を見ると、所在が3階一般図書と表示されているので、3階に本があることがわかります。



②本は各テーマごとに分類され、000~999の番号順に本棚に並べてあります。



③本は書庫にもあります。カウンターで手続きをして、入庫しましょう。

本を 借りるには?

①借りたい本が見つかったら、2階のカウンターで、本に学生証を添えて、貸出の手続きをしてください。また、カウンター前に設置してある自動貸出機でも貸出できます。



▲2階貸出カウンター



▲自動貸出機

本はどこで 返却するの?



本の返却は、図書館2階のカウンターやブックポストを利用してください。



▲ブックポスト

▲2階カウンター

(ブックポストは図書館のM2階入口と2階入口、5号館に設置されています。)

※図書館でわからないことがあったら、職員に声をかけてください。

月末に整理休館日があるよ!! チェックしてね~

アイから広がる図書館づくり

ピア・サポート
って何？

「ピア・サポート」という言葉をご存知ですか？ 現在、各地の学校・大学等の教育現場でピア・サポートの導入が試みられています。広島修道大学図書館でも学生たちがピア・サポート活動に取り組んでいます。

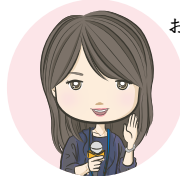
なんとなくなら
分かる…



図書館職員 門脇さん

そもそも、「ピア」って何？

お任せあれ！



佐々木さん

私が説明
しましょう！

図書館ピア・サポーターとは？

図書館ピア・サポーターとは、利用者の図書館利用をサポートする学生スタッフのことです。

図書館ピアの理念と目的

図書館ピア・サポーターは、次の理念、目的に沿って活動しています。

理念 「アイから広がる図書館づくり」

「アイ」は、I(わたし)、愛、出会い、eye(目線)を意味しています。活動を通して出会った仲間(ピア)を思いやりながら支援し、学生ならではの目線によりよい図書館を作っていこうという想いが込められています。

目的

- ①より良い図書館作りをすること
- ②自分を磨くこと
- ③仲間(ピア)を大切にすること

それぞれの目的に
対応した具体的な目標も
定めているよ



ピア・サポートとは？

ピア (peer) = 仲間
サポート (support) = 支援

ピア・サポートの定義

ピア・サポートとは、学生たちの対人関係能力や自己表現能力等、社会に生きる力が不足している現状を改善し、思いやりのある学校風土を育むことを目的とした学習活動のことです。そのために、教職員の指導・援助のもと学習の場を設定し、そこで得た知識やスキルを活かしながら仲間を思いやり、支える活動を実践します。

ピア・サポートプログラムの進め方

まず、活動の枠組みやねらいを設定し、対象となる学生に対してトレーニングをし、活動をするための計画をたて、実際にサポート活動を実施します。そして仲間とともにうまくいったことなどを共有し、課題になったことを解決し、さらなるスキルの獲得やサポート活動をめざします。特に振り返りを大切にすることが、学生のさらなる成長を促進します。

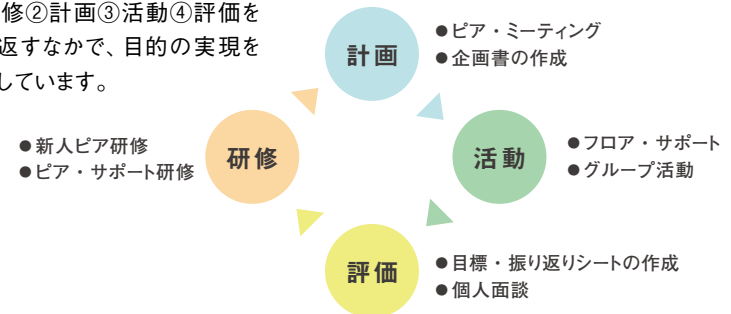
(参考：日本ピア・サポート学会HP)



つまり、ピア・サポートとは、仲間同士で助け合うなかで、お互いが成長することを目指す、教育的な活動なんだね！

図書館ピアの活動プロセス

①研修②計画③活動④評価を繰り返すなかで、目的の実現を目指しています。



これからも図書館ピア・サポーターでは、仲間同士切磋琢磨しながら、利用者の皆さまのために充実したサポート活動を展開していきます！
図書館ピア・サポーターの詳しい活動内容については、次回説明します。

Youは何しに図書館へ?

- Q1 所属学部・学年
- Q2 ニックネーム
- Q3 何しに図書館へ?
- Q4 図書館にひとこと



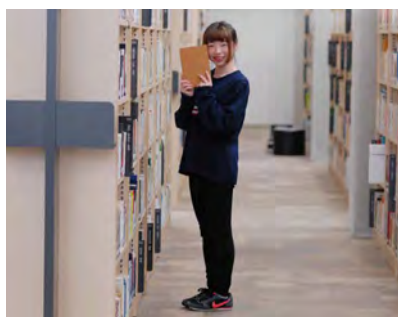
- A1 商学部・4年
- A2 けいちゃん、キノ、まーしー、よしお、きっしー
- A3 課題のコピー!
- A4 また来ます! パソコン増やして~!!



- A1 法学部・2年
- A2 かずよし
- A3 テスト勉強をしに来ました。
- A4 大事な場所なので、これからも図書館を使っていきます。



- A1 法学部・2年
- A2 終(しゆう)
- A3 テスト勉強!
- A4 もうちょっと飲食を許して!



- A1 人文学部・4年
- A2 ありさ
- A3 試験のための資料探し!
- A4 席数を増やして!!



- A1 法学部・2年
- A2 がっしー、あやか、あおい
- A3 テスト勉強!
- A4 いい環境♪



- A1 人文学部・4年
- A2 ゆい、ゆり、みほ
- A3 ゼミの本、参考書を探しに来ました!
- A4 修道の図書館大好きです♡



- A1 商学部・3年
- A2 きんぼ、D
- A3 テスト勉強!
- A4 パソコン増やしてほしい!



- A1 人間環境学部・4年
- A2 コン、みさき
- A3 寒かったので、図書館で待ち合わせ!
- A4 よく利用させていただいています。職員さん優しい!



- A1 商学部・3年
- A2 くらびー
- A3 テスト勉強!
- A4 静かなので落ち着いて勉強できる!



- A1 人文学部・4年
- A2 ともちこ、ともやくん
- A3 ラーニングコモンズでテスト勉強!
- A4 和室の部屋が大好きです!



- A1 人文学部・3年、法学研究科・2年
- A2 みき、のむ
- A3 ピア・サポーターの活動をしに来ました!
- A4 たくさん話しかけてね!!

撮影にご協力いただきました学生のみなさん、ありがとうございました。次回はあなたに突撃インタビュー!

始めませんか? 読書マラソン

図書館
×
生協ブックストア

～4年間で本を100冊読もう～

読書マラソンは「在学中の4年間で本を100冊読もう!」を目標に、全国の大学生協が実施している読書企画です。生協ブックストアでまずエントリー。コメントカードとスタンプカードを手に入れたら、あとは、読んだ本の感想を書いてブックストアに提出するだけ! 本は図書館で借りても生協ブックストアで購入してもOK。コメントカード1枚提出で1つスタンプがもらえます。

読書マラソン 5つの良い点

- ①気がついたら、たくさん本を読んでいます。
- ②BOOKMARKで紹介されるかも?
- ③年に1度の『全国読書マラソンコメント大賞』に応募します。入賞して賞品ゲット!
- ④スタンプが10個たまったら、生協ブックストアで使える500円の割引券がもらえます。
- ⑤コメントを書くうちに文章力アップ!

こんにちは!
生協ブックストアです。
読書マラソンランナー大募集中です。
生協の組合員ならどなたでも
参加できます。
たくさんのエントリー
お待ちしております。



2015年度全国読書マラソン ナイスランナー賞受賞

『自分の中に毒を持って』

岡本太郎著 / 青春出版社



所 在: 3階一般
請求記号: 159/O42

まずタイトルに惹かれました。「太陽の塔」を創った岡本太郎とはどのような人物なんだろうと読んでみました。読めば読むほど、とにかくこの岡本太郎という人物は、腹の底からグツグツと血が煮えたぎっている、濃い人物であると感じました。出逢う物に対して、全身全霊でぶつかっていくような、こんな人でなければ「太陽の塔」は出来なかったのではないかと感じられる一冊です。

人文学部 4年 / 曾田 愛美



2015年度全国読書マラソン ナイスランナー賞受賞

『経済学・哲学草稿』

マルクス著・長谷川宏訳 / 光文社



所 在: 3階一般
請求記号: 331.6/Ma59

資本主義を鋭く分析・批判する「経済学的思考」とヘーゲル批判から発する労働の意味を肯定的に捉え直した「哲学的思考」の2つを軸に論理展開したのがこの本の特徴だ。資本家と労働者は敵対し闘争を行うという前提で話が進められており時代錯誤だという印象を私は感じた。しかし一方で人間らしい生活を送るための労働はどういったものであるかという分析もされており、その点は評価できると思う。没个性的な生き方を強いられる現代人にとっては、参考となり助けとなる本であると思う。

法学部 2016年3月卒業 / 中本 真登



2015年度全国読書マラソン ナイスランナー賞受賞

『今夜は眠れない』

宮部みゆき著 / 中央公論新社



所 在: 3階一般
請求記号: 913.6/Mi71

子供の視点で物語が進んでいく一つの博打のお話。普通の家庭に突如現れてしまった5億円の大金。なぜ5億円の大金が遺贈されてきたのか。物語が進むにつれて謎は増えていくばかり。しかし終わりに近づいていくにつれ、その1つ1つの謎が解決されていく。最終的にはスカッとした気持ちよさだけが残ってしまう。この『今夜は眠れない』は結末が楽しみで読むのがやめられなくなる本だ。だから、途中でしおりを入れて次の日読もうと思ったら眠れなくなるよ。続きが気になって!

人間環境学部 2年 / 井塚 昭次朗

TADOKU「英語リーダーズ」キャンペーン

～1ヶ月で目指せ! 5万語!～

2015年11月1日～11月30日

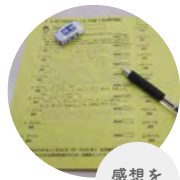
多読とは、その人に応じたやさしいレベルの英語の本をたくさん読むという語学学習の方法です。



借りる



読む



感想を書く



応募!

図書館3階にある多読用の「英語リーダーズ」の本を借りて読み、感想を書いて応募するキャンペーンを11月に行いました。応募者総数52名。第1位の森岡佑梨さん(累計総語数85,501語)をはじめ上位5名の方には表彰が行われ記念品が授与されました。



展示コーナー特別企画「Happy books」

～サンタの落としもの～

2015年12月11日～12月25日

思いがけない本との出会いを楽しんでもらおう! と企画しました。テーマに沿って数冊の本をメッセージカードと共に包装し、皆さんに選んでもらった包みを貸出しました。ワクワク・ドキドキ感、運命の一冊に出会えた皆さんからは感想も届きました。

いただいたコメント・感想

「マサが図書館のスタッフさん!」と胸を張って言える笑いあり涙あり?の2冊でした。」



「素敵な企画を計画していたが、ありがとうございます。『サンタの落としもの』の中に楽しいイギリスが詰まっています。」



～選ぶから、もっと好きになる～

「学内 Book Hunting 2015」

2015年12月7日～12月10日

図書館に置いてほしいと思う本を利用者の皆さん自身に選んでいただきました。今年は414名の方にご参加いただき、過去最多の参加者数となりました。購入した本710冊は、図書館2階展示コーナーに1月に並び、早速貸出されていました。



展示コーナー特別企画「未来につながる木」成長日記

2015年10月10日～12月25日

展示コーナー「時間列車の旅～ Time travel あなたの知らない時代を旅してみませんか?」では、みなさんと共に未来を考え言葉で表現するワーク「未来につながる木」を行いました。いただいたメッセージは、図書館職員が安佐南地区のとんどで焚きあげました。



図書館を身近なものに

図書館長
さかね よしひろ
坂根 嘉弘

大学図書館は、ここ20年余りの間に、情報通信技術の発達で大きく変わりました。我々の学生時代(30年～40年前)からすると、隔世の感です。我々の頃は、そもそも図書検索に多くの労力がかかりました。図書を借りるには、まずは、図書館入り口近くに置かれた図書カードボックスで、図書カードを一枚一枚めくって目的の図書を探さねばなりません。手あかや経年変化で色あせたカードが多く、なんとなく埃っぽく、「手が汚れるな」と思いながらカードを繰ったものです。図書を借り出すときも、図書借用証に、書名・請求記号や氏名・住所・所属など相当の項目を、図書1冊ごと、記入する必要がありました。すべて手書きでしたから、「字を丁寧に」と図書館司書の方から、小言を頂戴しながらの作業です。それが済んで、ようやく図書貸出しとなります。結構なコスト(時間と労力)がかかりました。

いまや、図書カード検索や手書きでの記入など面倒な作業は一切不要となりました。図書借用のコストは、格段に低くなりました。図書検索は、図書館はもちろん自宅のパソコンでできますし、プリントアウトすれば手書きの必要もなく、借り出す際には学生証で済みます。雑誌タイトルの検索や雑誌論文の検索も、同様に、極めて簡単・便利になりました。他所の大学図書館の図書・雑誌検索も簡単にできるようになり、図書館を通してそれらを借用したり、複写することもできるようになっています。パソコンを通して全国図書館の書名・著者検索や事項検索も可能になり、文字通り、隔世の感です。新入生・学生の皆さんも、是非、この便利な環境を享受してください。

広島修道大学図書館は、多くの図書、雑誌を所蔵していますが、そのほかに、電子ジャーナル(約13000タイトル)、電子ブック(約1000冊)、データ

ベース(33種類)といった電子媒体も充実しています。また、教育環境にも力をいれており、グループ学習室やパソコンを設置した個室の学習室という教育スペースも用意しています。個人用・多人数用ブースで、映画、スポーツ、世界遺産など様々な視聴覚資料の利用もできます。こういった図書資料の、いわば器となるのが建物ですが、ご存知のように、吹き抜きエントランスホールから始まる広島修道大学図書館建物は極めて立派なものです。この建物が日本図書館協会建築賞を受賞したのも、うなずけます。

図書館は、「知の拠点」とか「知の宝庫」とよくいわれます。図書館には、人類の知的遺産の蓄積がなされているためです。広島修道大学図書館には、図書約83万冊、雑誌約5700タイトルと多くの図書資料が所蔵されています。このような豊かな「知の宝庫」で、是非、より広い知識の獲得を行って

ください。知識を得ることは、さまざまな局面で行動する場合の根拠=判断基準を獲得することにつながります。自らある行動を起こす場合に、それについてどれぐらい知っているかどうかは、合理的判断にとって大きな差を生みます。つまり、知識を得るということは、自らを自由にするということにつながるのです。是非、図書館を身近なものにして、知識・自由の獲得を行ってください。

最後に、私の研究について紹介させていただきます。私の専門は、日本経済史と呼ばれている分野です。日本経済の歴史を分析する学問分野です。主に明治以降を専門にしています。『日本伝統社会と経済発展』や『地域のなかの軍隊5 中国四国 西の軍隊と軍港都市』といった本をだしています。広島修道大学図書館にも入れていますので、興味のある方は是非ご覧ください。



スクープとは

図書館
しゃあきお
社家 彰夫

図書資料の選書をする際に新聞の書評を読んでいると、「スクープ」という本がたまたま目にとまった。——『ビースト』紙で田舎暮らしのコラム「田園便り」を担当している独身男ウィリアム・ブートが、同姓の流行作家ジョン・ブートと間違えられるという手違いから、突如外国特派員に任命される。派遣されたのは、政変が噂されるアフリカの独裁国家。怪しいスパイや政商が暗躍し、ライバル記者たちが報道合戦を繰り広げるなか、ウィリアムは人生初の恋に落ち、思いがけずスクープをものにするのだが……

読んでいると、大学時代に授業で使用したテキストだと思い出した。確か2年次の「英米文学特講」で、原書を手にしてこれを全部読むのは大変だなと思ったこと。当時の図書館には、現代の作家が著者だということなのか関連の資料が少なく（作家の評価が確立されていなかったためか？）市内の本屋を片っ端から探したが、大した資料は見つけること

ができなかったこと。時代背景、歴史、経済や文化等を理解するのに、先生から教えてもらう情報が一番のよりどころだったこと。1号館の1室で受けた授業の様子等いろいろなのが脳裏に浮かんできた。今にして思えば他にも関連資料を探す手段は当然あったはずなのに、残念なことに当時の私にはそれ以上のことは思いつかなかった。

著者のイーヴリン・ウォーが「ジャーナリズムに対する軽い風刺」と述べている本書は、1938年に発表され、今なお「現代の古典」として不動の地位を占めている。2003年『ガーディアン』紙上で「古今の名作小説100」に選出され、2009年に再び『ガーディアン』紙が発表した「英ガーディアン紙が選ぶ必読小説1000冊」に選出、さらに2014年『テレグラフ』紙上においても「絶対必読の小説100」に選出されている。

新聞社の上層部の手違いで派遣された国で主人公のウィリアムは、現地の状

況が分からないままに恋人?のおかげもあり、たまたまスクープをものにするようになる。新聞社としては、彼が当初予定の人物であろうがそうでなかろうが関係なく、ただ結果として他社よりも早く公衆の興味を引く記事が配信できればよいのである。さらに、その記事の内容が正しいかどうかということよりも、いかに他社を出し抜いてスクープをものにするかということが重要なのである。このあたりは、著者の当時のジャーナリズムに対する痛烈な批判が読み取れるところである。そして、物語は2人のブートを中心に展開し、3人目のブートまで登場することになり、より複雑な人間関係となるのだが……

1938年イギリスで発表された小説の原書が、38年後日本の大学で授業のテキストとして使用され、その後また38年後に絶対必読の小説として選出され紹介されている。文学作品の評価には長い年月がかかることを改めて実感した。38年前図書館にあるOED(オックスフォード英語辞典)等の関係資料や先生の指導等、総動員して読み進めた小説が、イギリス本国で評価され続け、日本語に翻訳され気軽に読める1冊として出版された。

著者イーヴリン・ウォーは『タイムズ』の特派員として、また『デイリー・メール』の戦時特派員としてもアビシニア(エチオ



所 在 : 3階一般図書
請求記号 : 933/W49

ピア)に派遣されており、本書はその経験を基にして書かれた小説と言われている。記録によれば、実際に著者はこの派遣時にスクープ記事を他社に読まれないようにラテン語で送信したが、その意図が新聞社では全く理解されず、結局配信されなかった。という苦い経験をしている。興味のある方は2015年5月に白水社から翻訳版が発行されているので、ぜひ手に取って3人目のブートを探して欲しい。